

インドネシア語、日本語の文末表現

——意味は音声に影響を与えるか——

湯 淺 章 子・Rahmana Nur Arini・執 行 葉 子・滝 麻 文

Comparing Sentence-Final Forms Between Indonesian and Japanese:

Does Meaning Affect Intonation?

YUASA Akiko, Rahmana Nur Arini, SHUGYO Yoko and TAKI Mafumi

Abstract : In both Indonesian and Japanese, various types of sentence-final forms such as Indonesian “*dong*” or “*lho*” and Japanese “*ne*” or “*yo*” tend to be used frequently in daily conversations. Such forms do not often appear in formal situations, but they do in informal situations. Minute differences in semantics sometimes depend on which form is used in the sentence. This study begins by comparing five sentence-final forms between Indonesian and Japanese and outlines their semantic features. The phase is followed by an analysis on the relationship between those forms and intonation. It seems to be possible that the meaning of a sentence-final form affects intonation in both Indonesian and Japanese. It is concluded that there is a similarity in both languages in many cases of the use of sentence-final forms though there were some exceptions.

Key Words : Indonesian/Japanese, intonation, contrastive study, sentence-final forms, meaning and speech

要旨 : 日常会話において、インドネシア語も日本語も、「ね」「よ」「*dong*」「*lho*」等の様々な文末表現が頻繁に用いられる傾向にある。フォーマルな場面ではまず使用されないこれらの文末表現は、インフォーマルな場面では頻繁に出現し、それらの使い分けが文のニュアンスを決めることも多い。本研究では、インドネシア語の文末表現5種を日本語訳と対照しながら分析し、それぞれの意味と用法をまとめた後、それらが音声とどのようなかわりを持っているのか（いないのか）を追った。その結果、インドネシア語、日本語ともに、意味は音声に影響を与えており、若干の例外はあるものの、多くのケースで両言語に並行性がある、という結論に至った。

キーワード : インドネシア語／日本語、イントネーション、対照研究、文末表現、意味と音声

1. はじめに

日常会話においては、インドネシア語も日本語も、「ね」「よ」「*dong*」「*lho*」等の様々な文末表現が頻繁に用いられる傾向にある。フォーマルな場面ではまず使用されないこれらの文末表現は、インフォーマルな場面では頻繁に出現し、それらの使い分けが文のニュアンスを決めることも多い。

例えば、「明日学校に行くぞ」「明日学校に行くね」では、「明日学校に行く」という大まかな意味合いは同じである。しかし両者を比較すると、文末に終助詞「ぞ」を加えた場合は、聞き手をやや強く誘う意味、あるいは、話し手が自分自身に言い聞かせる意味を持つのに対し、終助詞「ね」を加えた場合には、話し手が学校に行くという事実を聞き手に伝えることを意味する。このように、日本語では、文末表現は文章のニュアンスを微妙に変えている。インドネシア語における“*dong*”や“*lho*”等の文末表現も同様に、話し手の微妙なニュアンスを表現

しているのではないかと考えられる。

通常、インドネシアの方々にわからない単語の意味を聞くとすぐに教えてくれるが、文末表現の意味を尋ねると、ほとんどの方が口をそろえて「意味はないから気にしないでいい」と言う。しかし、もしそれらが意味のない言葉だとしたら、なぜ様々な種類の文末表現をそれぞれの場面で使い分けているのだろうか。日本語の文末表現にも決まりがあるのと同じように、インドネシア語のそれらにもおそらく決まりがあり、ネイティブは知らぬ間にうまく使いこなしているのではないか。そうであれば、これは「意味のないもの」として、放置しておくべきではない。

本研究では、インドネシア語の文末表現について、日本語訳と比較しながらそれぞれの意味をまとめた後、それらの意味が音声（特に本稿ではイントネーション）とどのようなかわりを持っているのか（いないのか）を追う。対照する例文の選択に関しては、インドネシア語に翻訳され出版されている日本のコミック漫画『名探偵コナン』『ちびまる子ちゃん』や、日常会話、および現地の雑誌等も参照する。

本研究は、コロナ禍で海外渡航やフィールド研究ができない中、かつて湯浅ゼミの学生たちが取り組み、卒業後はそのまま埋もれていた研究をいくつか掘り起こし、それらを活用しつつ、新しい視点、観点をに入れて分析し、構成し直して新しい分野の研究に繋ぐ試みである。

2. 先行研究

筆者たちの知る限り、インドネシア語の文末表現についてまとめた研究は非常に少なく、Kulsum (2012), Miyake (2015) 等が見られるのみである。Kulsum (2012) においては、命令文における *dong* と *deh* の機能は、命令／禁止／勧誘を丁寧にするという、ほぼ同じ機能を持つことが考察されており、Miyake (2015) では、*sih*, *kok*, *lo*, *dong* に絞り、それらの意味の異なりに関する考察が若干なされているのみである。さらに、インドネシア語のテキストや辞書においても、インドネシア語の終助詞や文末表現に関する詳細はほとんど掲載されておらず、6冊のインドネシア語辞書を調べたが、詳細に関する記載はほぼ見られなかった。本稿で扱った *kok*, *dong*, *sih*, *lo*, *lah* に関し、6冊の辞書にどのように書かれているか確認したところ、記載がないものもあり、記載がある場合にも簡単な説明があるだけであった。以下を参照されたい。

① *Kamus Besar Bahasa Indonesia*

kok : kata yang digunakan untuk menekankan atau menguatkan maksud

dong : kata yang dipakai di belakang kata atau kalimat untuk pemanis atau pelembut maksud ; *kalau bukan kamu, siapa ~ yang harus membiayai adikmu?*

sih : 1 kata penambah atau penegas dalam kalimat tanya, menyatakan masih bimbang atau belum pasti benar ; *gerangan : siapa-yang mengambilnya?* 2 memang ; sebenarnya : *bagus-bagus, tetapi harganya selangit.*

lo : kata seru menyatakan heran, terperanjat, dan sebagainya

lah : kata yang digunakan untuk menekankan makna kata yang di depannya

② *Kamus Lengkap Bahasa Indonesia*

kok : kata untuk menguatkan maksud

dong : —

sih : *toh* : memang

lo : kata seru menyatakan heran, terperanjat dsb

lah : partikel yang digunakan untuk menenangkan kata yang didepannya mengandung arti, suruhan, pengetahuan, maksud, petunjuk, aspek dsb

③ *Kamus Umum Bahasa Indonesia*

kok : *jw* : bp. kata untuk menguatkan maksud ; *mis* : *bukan karena lupa ~*

dong : kata seru yang dipakai di beakang kata atau kalimat untuk pemanis atau pelembut maksud ; mis : *jangan begitu*
 ~
 sih : toh, memang
 lo : kata seru untuk menyatakan heran, terpenjat
 lah : —

④プログレシブインドネシア語辞典

kok : 2 (述語に続いて使われ、相手の誤解を正す表現) gampang kok (そんなことない) tidak susah kok (難しくないよ)
 dong : [語尾につけて] …じゃないか …だよ | iya, dong そうだよ makan dong 食べなよ
 sih : 3 [述語の後ろに置いて] (理由を述べて) | habis murah sih だって安いもの
 lo : 2 (自慢げな口調で) …よ | sepedaku bagus lho 僕の自転車は素晴らしいんだよ
 lah : 1 [命令に付けて] belajarlal 勉強しなさい 2 [強調を表して] inilah これこそが… / iyalah そりゃそうだよ

⑤すぐにつかえるインドネシア語・日本語・英語辞典

kok : 記述なし
 dong : 記述なし
 sih : 記述なし
 lho : 記述なし
 lah : 記述なし

⑥現代インドネシア語辞典

kok : 記述なし
 dong : 記述なし
 sih : 〈ジャカルタ語〉 toh, memang 婉曲ないし強調を示す語。Ada apa sih! どうしたんだ！
 lho : 記述なし
 lah : 前置語の命令を強める。語意を強める。婉曲に表現する。ていねいな表現で語調を良くする時は意味はない。

以上の通り、先行研究が非常に少ないこと、またインドネシア語と日本語を対照させた文末表現に関する研究はほとんど無いことから、今回この研究に取り組むこととした。

3. インドネシア語の文末表現～その意味と用法、音声との関係

この項では、インドネシア語の文末表現 (kok, dong, sih, lho, lah) について、日本語訳と対照しながら、まずその意味と用法について考え、次にそれらと音声との関係を見る。

3-1 kok

〈例文〉①コミック『名探偵コナン特別編⑤』より

Ah, Takumi juga hebat kok!

あら、巧くんだって なかなかのもんよ (だよ)。

雑用ばかりで、まだまだ大した仕事はできていないと思っている巧に対し、星美は、あなたはなかなか良い仕事をしているのよ、と気づかせようと、この文末表現を用いている。

〈例文〉②雑誌 GO GIRL より

Boleh ngemil kok.

おやつを食べてもいいんだよ。

このキャッチコピーには次の説明が添えられている。

たいてい、夕方4時頃になるとお腹がすいてきて、何かおやつが食べたくなる。ローファットアイスやヨーグルト、高繊維のプリンやサラダを食べるとか、マンゴジュースみたいなジュースを買っても大丈夫。でも、食べすぎには注意してね。(日本語訳：筆者)

雑誌 *GO GIRL* に掲載されたダイエット特集の中でのアドバイスである。ダイエット中は間食してはダメだと思っている読者に対し、こんなおやつなら食べても大丈夫、ということを知らせている。

これら例文の用法より見えてくるのは、文末に使われる“kok” 日本語訳：「だよ(よ)」は、相手に情報を知らせたり気づかせたりする役割をしているということである。相手が知らない、気づいていない情報を伝える場面や、注意を向けさせる場面で、この文末表現が使われているようだ。

以上をまとめると

インドネシア語：kok

日本語訳：だよ／よ

については、「知らせる・気づかせる」意味を持つ文末表現と考えられる。

3-2 dong

〈例文〉①日常会話より

A : Mau makan? 食べる?

B : Iya, dong! もちろんだよ!

①'

A : Sudah capek? 疲れた?

B : Capek, dong! (当然) 疲れたよ!

〈例文〉②コミック『ちびまる子ちゃん⑨』より

Hanawa, ajari bahasa Inggris, dong.

花輪クン、英語教えてよ。

例文②では、アメリカ帰りの花輪クンが、いつも自分の英語はアメリカンでラフだ、と自慢している。ならば、当然私たちに英語を教えられるはずだね、教えてくれるよね、とばかりに、ちびまる子ちゃんが花輪クンに要求する場面でこの文末表現が用いられている。

これら例文の用法より見えてくることは、文末に使われる“dong” 日本語訳：「(当然) だよ、よ」は、当然～と強調する場面や、当然できるだろうから～して、と要求する場面に使われている文末表現のようだ、ということである。

以上をまとめると、

インドネシア語：dong

日本語訳：(当然) だよ／よ

については、「当然～だ(よ)と強調する、当然できるだろうから～してよと要求する」意味を持つ文末表現と考えられる。

ところで、3-1 kok, 3-2 dong を比べてみよう。日本語ではどちらも、「だよ／よ」と訳されるが、インドネシア語では、知らせる・気づかせる場合の文末表現では、“kok” が使われ、当然～だよ(よ)と強調、要求する場合には“dong” が使われている。日本語訳の方は意味が異なっても同じような文末表現が用いられているようだが、

音声はどうなっているだろうか。

ここで、日本語の文末表現「よ」の音声に関する先行研究を見てみよう。

郡(2020)は、「よ」の典型的なイントネーションを2つに分けている。やさしく教えるように言う場合や相手の反応を求める場合は、直前のアクセントを生かしながら疑問型上昇調になり、一方的な通告として言う場合や相手の意見とは違うことをはっきりさせたい場合は、低い高さをつけるだけでそれ以上の独自の動きのない無音調になるとしている。

田中・窪蘭(2012)は、文末イントネーションの型を上昇、疑問上昇、下降、上昇下降の4つに分類し、以下のように分析している。

「よ」が上昇イントネーションで発音されると、単に情報を聞き手に伝える発音になり、聞き手に呼びかける軽快な感じも加わる。疑問上昇のイントネーションで発音されると「自分が知っている情報を聞き手に知らせる」という意味の上に、さらにそれに応じた行動を聞き手に求めるという意味が加わる、としている。

これに対し、「よ」に下降のイントネーションが加わると、話者と聞き手の認識や意見が食い違っていることが強調され、話者はその食い違いに対する自分の「驚き、落胆、不満」などの感情を表すことができる。このため、聞き手が返答しにくくなるとしている。

また、「よ」が上昇下降のイントネーションによって発音されると、話者の感情について聞き手に呼びかける感じが現れるため、聞き手が返答しやすくなる。つまり、上昇下降のイントネーションで発音される「よ」には、聞き手に何かを頼んだり、許しをもらったり、甘えたりする時のような、やわらかい感じが加わると述べている。

このように、同じ「よ」という日本語の終助詞1つをとっても、イントネーションによって微妙に意味が変わっていることがわかる。逆に言えば、意味が文末のイントネーションに影響を与えている、とも言えるだろう。

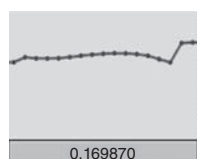
では、インドネシア語の文末表現の場合はどうだろうか。同様の意味を持つインドネシア語の文末表現と日本語の文末表現のイントネーションに何らかの並行性は見られるだろうか。このことに関し、3-1 kok, 3-2 dong のピッチ情報¹を比較してみよう。

〈インドネシア語、日本語の文末ピッチ情報〉

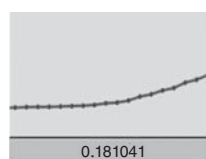
ピッチ情報提供：白海燕（以降同様）

3-1 kok

①



Takumi juga hebat kok!

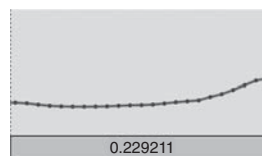


巧くんだって なかなかのもんよ。

②



Boleh ngemil kok.

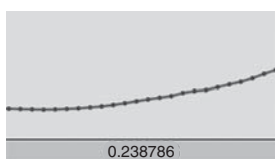
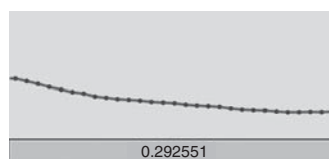


おやつを食べてもいいんだよ。

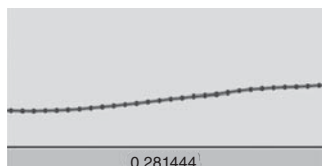
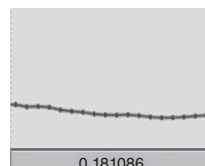
1 ピッチは音の高さを表す単位であり、イントネーションは文レベルの音の高さの変化パターンを示す用語である（川原2018）。本稿ではピッチ情報を用いて文末イントネーションを確認している。

3-2 dong

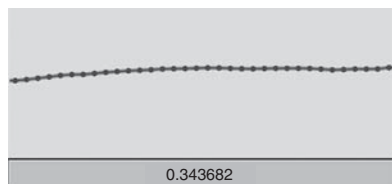
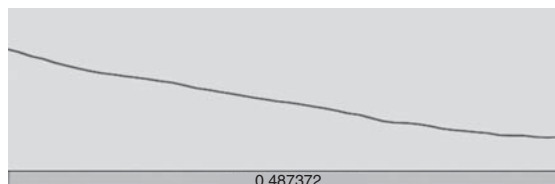
①

B: Iya, dong!B: もちろんだよ!

①'

B: Capek, dong!B: (当然) 疲れたよ!

②

Hanawa, ajari bahasa Inggris, dong.花輪くん、英語教えてよ。

以上の結果をまとめてみよう。

3-1 知らせる・気付かせる表現 (kok, だよ・よ) の場合、両言語とも文末が若干上がる傾向が見られた。一方 3-2 当然～と強調する表現 (dong, だよ・よ) の場合、インドネシア語は文末が上がり、日本語では下がる傾向が見られた。また、要求する表現 (dong, だよ・よ) の場合は、インドネシア語は平板的、日本語では下がる傾向が見られた。

以降も同様の視点から, sih, lho, lah を見ていくこととする。

3-3 sih

〈例文〉①日常会話より

A: Kenapa kamu kalah? おまえ、どうして負けたの?

B: Habis mereka kuat sih. だってあいつら強いんだもん。

〈例文〉②

Nggak tau diri...!!

(風邪をひいているのに) 自覚ないのか!

Enak sih... Ngiri ya...

おいしいんだもん。うらやましいんだろ!



湯浅他 2004『インドネシア語 150 単語を使いこなそう』より

(掲載許諾済：以降同様)

風邪をひいているのにアイスクリームを食べている友達に「自覚がないのか。」と注意したところ、「おいしいんだもん。」と食べている理由を言い放った場面である。

〈例文〉③

Kok suaranya keras sekali.
 なんでこんなに音が大きいんだろう。
 Habis dokter ganteng sih.
 だって、先生がかっこいいんだもん。

患者の鼓動の音が大きいことに驚いた医師に、「だって先生（ドクター）がかっこいいんだもん。」と理由を語っている場面である。



湯浅他 2004 より

〈例文〉④

Susah amat sih!
 めっちゃ難しいんだもん。

テスト問題が解けず「すごく難しくてわけがわからない。」とつぶやいている場面である。



湯浅他 2004 より

〈例文〉⑤日常会話より

A : Kenapa pilih baju seperti itu? なんでそんな服選んだの？
 B : Ini bagus, kok. だってこれよくない？
 A : Ya itu bagus sih, tapi kurang manis. うん確かににいいよ…でもあまりかわいくない。

〈例文〉⑥CITA CINTA（2007）より

Enak sih, tapi..... 確かににおいしいよ, でも…

例文⑥は、雑誌 CITA CINTA のダイエット特集にハンバーガーの写真とともに掲載された文であり、「ファストフードは確かにおいしいけど、食べすぎると太るよ」というメッセージの一部分である。

以上の例文の用法より見えてくるのは、文末に使われる“sih”日本語訳「だもん、だよ、確かに～だよ」は、相手から何かを言われ、あるいは何らかの状況に置かれて、言い訳をする、理由を述べる（強調する）、確かに～だと認める、等の場面で使われているようだということである。何か（それが自分自身の場合もある）を、正当であると示す、認める、場面で使われる文末表現、とまとめることができるだろう。

以上をまとめると、

インドネシア語：sih

日本語訳：だもん／だよ

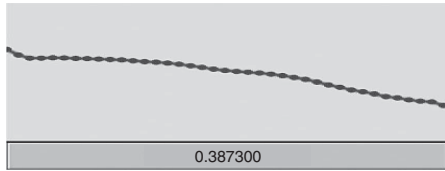
については、「(正当であると) 理由を述べる、理由を強調する、確かに～だと認める」意味を持つ文末表現だと考えられる。

次にピッチ情報を見てみよう。

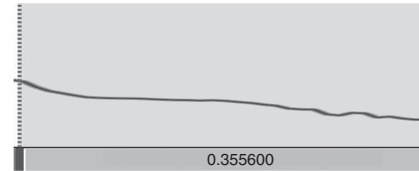
〈インドネシア語, 日本語の文末ピッチ情報〉

3-3 sih

①

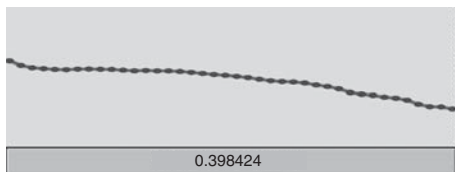


B: habis mereka kuat sih.

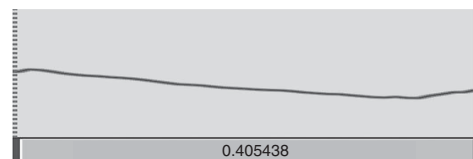


B: だってあいつら強いんだもん。

②

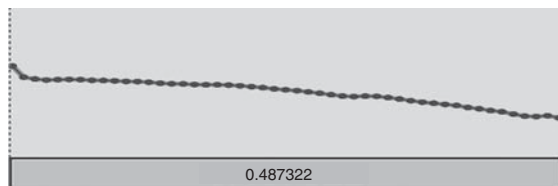


Enak sih...

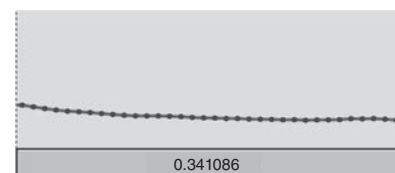


おいしいんだもん。

③

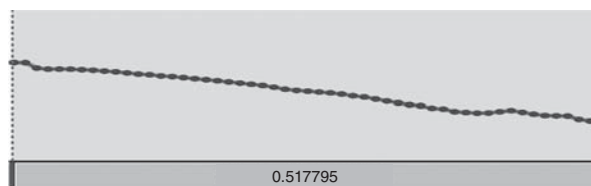


B: Habis dokter ganteng sih.

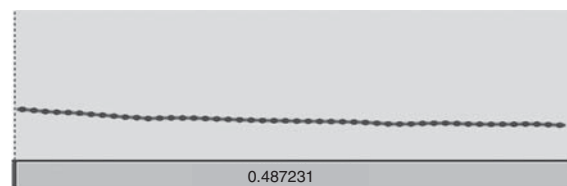


B: だって先生がかっこいいんだもん。

④

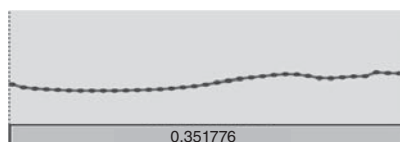


Susah amat sih!

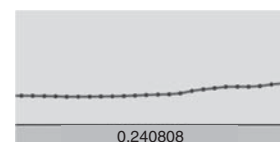


めっちゃ難しいんだもん。

⑤



A: ya itu bagus sih...tapi

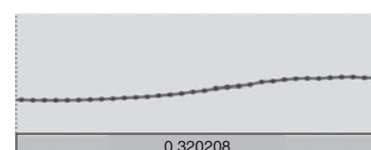


A: うん確かにいいよ...でも

⑥



Enak sih, tapi.....



確かにおいしいよ, でも...

以上の結果をまとめてみよう。

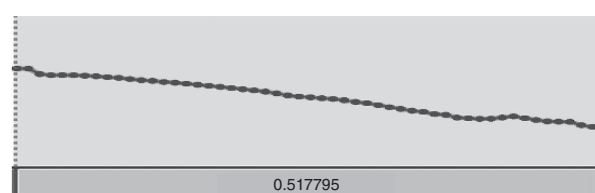
3-3 (正当であると)理由を述べる,理由を強調する(sih, だもん・だよ)①~④の場合,両言語とも下降の傾向が見られた。

一方,3-3 確かに~だと認める(sih, だもん・だよ)⑤・⑥の場合は,その後に文が続いていることが干渉するためか,両言語とも若干平板的となる傾向が見られた。

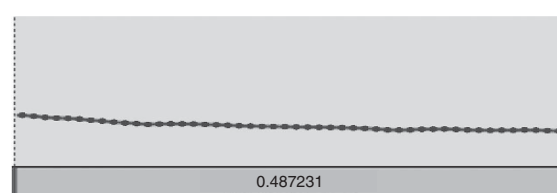
また,3-3 ①~④の例文にある「sih, だもん」は,話し手が女性や子供で,聞き手に甘えるような言い回しをする際,日本語では語尾が上がる傾向が見られる。例えば,「先生がかっこいいんだもん↑だっておいしいんだもん↑」と文末が上昇する傾向が見られるが,インドネシア語ではその場合も変化はほとんど無かった。以下のピッチ情報の一例を見られたい。

3-3-④

【通常】

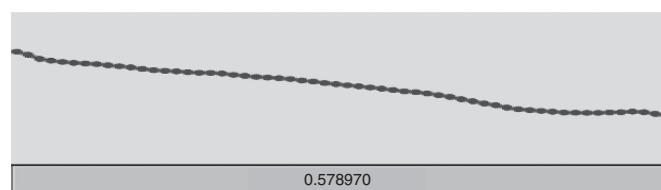


Susah amat sih!

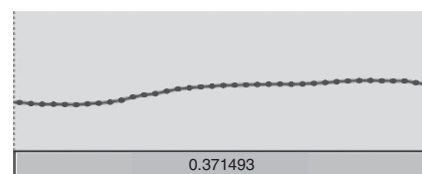


めっちゃ難しいんだもん。

【甘えるように言った場合】



Susah amat sih!



めっちゃ難しいんだもん。

このようにピッチに関しては,インドネシア語は話し手の属性による影響をあまり受けないが,日本語は影響を受け,語尾が若干上がる傾向が見られた。

文末表現のイントネーションが,話し手のジェンダーや年齢によって影響を受ける日本語と,あまり受けないインドネシア語,という興味深い一面を見つけた。この件に関しては他の文末表現についてはどうなのかを調べ,今後の研究に繋ぎたい。今回は,一部にこのような傾向がみられたということのみに留め,これ以上は言及しない。最後のまとめて少しだけ触れる。

3-4 lho

〈例文〉①日常会話より

- A : Berapa nomor HP kamu? 君の携帯番号教えて。
 B : Aku gak punya nomor. 僕, 携帯持ってない。
 A : Beli aja, murah lho. 買いなよ, 安いんだよ (安いんだから)。

A は, 携帯電話を持ってない B に対し, 携帯電話が安いという情報を知らせている。このように, lho は, 聞き手に「ある情報を気づかせる, あるいは, 知らせる」働きをしている。これは, 3-1 kok の用法と同じである。しかし, 両者は微妙に異なるニュアンスを持つ。比較してみよう。

〈例文〉①' 日常会話より

- A : Berapa nomor HP kamu? 君の携帯番号教えて。

B : Aku gak punya nomor. 僕, 携帯持っていない。

A : Beli aja, murah kok. 買ったら? 安いよ。

上の会話は, lho と kok を入れ替えただけだが, 意味合いは同じにはならない。kok は, より丁寧でリラックスした状況で使われ, あくまで聞き手の意見を尊重した上で, 聞き手のために思い情報を提供するが, lho は, kok よりもシリアスな状況で, 話し手の意見を聞き手に主張し, 自分が聞き手よりもそのことについて詳しいということを強調した印象を与えているようだ。

これを顕著に示すのが次の例文である。次のようなシリアスな場面では lho は使えるが, kok を使うと異なるニュアンスの文となる。

〈例文〉②日常会話より

A : Ayu tiba-tiba gak nyapa ama aku, dan bilang ama temen-temen katanya aku jahat.

アユが突然あたしに話しかけなくなって, 友達にあたしが悪い人だって言ってるらしい。

B : Kenapa ya dia begitu, padahal kamu baik lho.

なんでそんなことを。あんた, いい子だよ。

ここで, もし kok を使うと異なるニュアンスの文になる。lho は, 通常 kok を使う場面よりもシリアスな状況を示す場面で使われる。ここでは, A が真剣に悩んでいるので, シリアスな場面で使う lho を付け, いい子であるということを強調している。この場合は, lho を使うことで, 説得力を持った表現となる。

以上をまとめると

インドネシア語: lho

日本語訳: だから／だよ／よ

については, 「知らせる・気づかせる」意味を持つ文末表現と考えられる。なお, 同様の意味を持つ 3-1 kok よりも主張の強い表現である。

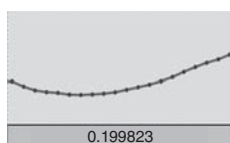
ところで, この 2 つ (lho, kok) を用いた文の音声と比較するとどうだろうか。同じような意味を表す文末表現でありながら, 微妙に異なる両者のニュアンスの違いは音声にどのような影響を与えるだろうか。また, それを対訳した日本語文についてはどうだろうか。

ピッチ情報を見てみよう。

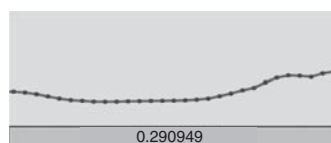
〈インドネシア語, 日本語の文末ピッチ情報〉

3-4 lho

①

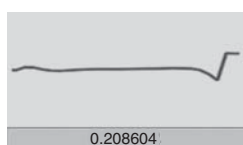
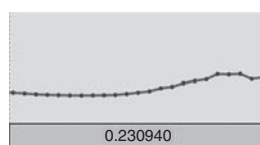


A : Beli aja, murah lho.

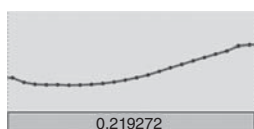
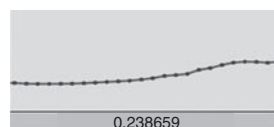


A : 買いなよ, 安いんだよ。

①'

A : Beli aja, murah kok.A : 買ったら？安いよ。

②

B : kamu baik lho.B : あんた、いい子だよ。

以上の結果をまとめてみよう。

知らせる・気づかせる文末表現 (lho, kok) の両者を比較すると、3-4 lho (だから・だよ・よ) に関してはインドネシア語、日本語ともに上昇する傾向が見られた。また、3-1 kok (だよ・よ) に関しても両言語とも(若干)上昇する傾向が見られた。lho, kok 両者の微妙なニュアンスの違いはピッチ情報にも若干の影響を与えているように思えるが、今回の研究ではそれ以上の詳細は明らかにできなかった。このことに関しては今後の研究に譲りたい。

3-5 lah

〈例文〉①日常会話より

A : Kamu masih ragu untuk pergi ke Indonesia, kan?

まだインドネシアに行くかどうか、迷ってるんだって。

B : Ya begitulah.

うん、まあそんな感じ。

ここでの lah は、begitu (そう／そんな) を強調しながらリズムを整えるために使われている。

〈例文〉②日常会話より

A : Boleh pinjam tip x?

修正液借りていい。

B : Pinjam? Beli lah!

借りる？買えよ！

〈例文〉③日常会話より

Kok belum makan? Makan lah!

まだ食べてないのか、食べろよ！

例文②③では、lah は強調しながら命じる働きをしている。

例文①②③についてまとめれば、以下の通りである。

インドネシア語：lah

日本語訳：強調する意味を持つ文末表現

lah は、強調しながらリズムを整える場合①や、強調しながら命じる場合②③などに使われる文末表現と言えるだろう。つまり「強調する意味を持つ文末表現」とまとめることができる。

では、同じく「強調する意味を持つ文末表現」3-2 dong (当然～だ(よ)と強調する)と、どう異なるのか見

てみよう。

〈例文〉②' 日常会話より

- | | |
|--------------------------------|---------------------|
| (1) A : Boleh pinjam tip x? | 修正液借りていい。 |
| B : Pinjam? Beli <u>lah</u> ! | 借りる? 買 <u>え</u> よ! |
| (2) A : Boleh pinjam tip x? | 修正液借りていい。 |
| B : Pinjam? Beli <u>dong</u> ! | 借りる? 買 <u>いな</u> よ! |

lah を使った場合は、どうして買わないのか、と若干怒っているニュアンスが含まれ、買えよ! のように命令口調となる。一方、dong の場合は、本気で買えと言っているのではなく、フツー買うだろ、買った方がいいよ、と冗談っぽく言っているだけである。よって B はこの後修正液を抵抗なく貸すだろう。

〈例文〉③' 日常会話より

- | | |
|--|--------------------------|
| (1) Kok belum makan? Makan <u>lah</u> ! | まだ食べてないのか、食 <u>べ</u> ろよ! |
| (2) Kok belum makan? Makan <u>dong</u> ! | まだ食べてないの、食 <u>べて</u> よ。 |

(1) は、聞き手がまだ食べていないのを見て、食べろ、と命令口調で言う場面合である。

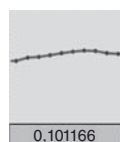
(2) は、まだ聞き手が食べていないのを見て、話し手が(当然)食べた方がいいと思い、食べて、と言っている場面である。

以上より、同じ「強調」でも、lah は強調しながらリズムを整える場面や、強調しながら命じる場面で使用され、dong は当然～と強調する場面や、当然できるだろうから～して、と要求する場面で使用される、と両者の違いをまとめることができるだろう。

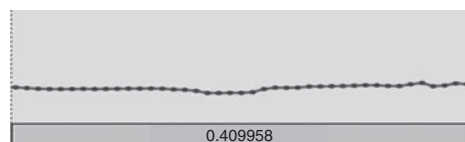
次にピッチ情報を見てみよう。

〈インドネシア語、日本語の文末ピッチ情報〉

①強調しながらリズムを整える場合



B : Ya begitulah.

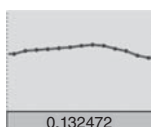


B : うん、まあそんな感じ。

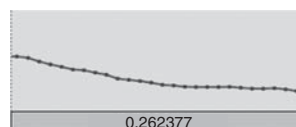
この場合は、インドネシア語／日本語ともに平板的な傾向が見られた。

②強調しながら命じる場合

【lah】

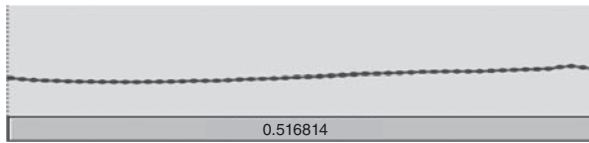
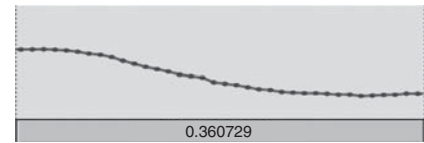


B : Pinjam? Beli lah!



借りる? 買えよ!

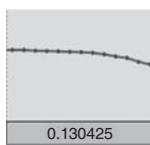
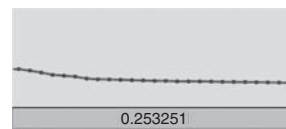
【dong】

B: Pinjam? Beli dong!借りる? 買いなよ!

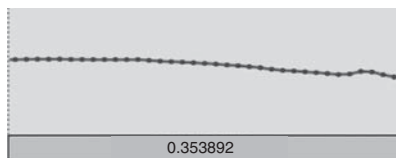
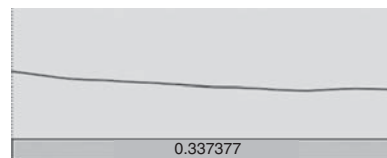
この場合は、lah は若干下降の傾向がみられ、dong は緩やかな上昇傾向が見られる。それに対応する日本語訳（よ）ではどちらも下降の傾向が見られた。

③強調しながら命じる場合

【lah】

Makan lah!食べろよ!

【dong】

Makan dong!食べてよ。

この場合は、lah は若干下降の傾向、dong はやや平板的な傾向が見られ、対応する日本語訳（よ）は、どちらも若干下降の傾向が見られた。

これらのピッチ情報をまとめれば、以下の通りとなる。

強調しながらリズムを整える場合①の lah は平板的な傾向がみられた。強調しながら命じる場合②③の lah は、同じく強調する意味を持つ文末表現 dong と比較しながらみれば、lah はインドネシア語、日本語ともに下降の傾向がみられ、dong（当然～と強調する場合）のインドネシア語は緩やかな上昇、日本語は下降の傾向がみられた。また、dong（当然～してと要求する場合）のインドネシア語は平板的、日本語は緩やかな下降の傾向がみられた。

4. ま と め

本研究では、インドネシア語の文末表現について、日本語訳と比較しながらそれぞれの意味をまとめた後、それらの意味が音声（特に本稿ではイントネーション）とどのようなかかわりを持っているのか（いないのか）を追った。

本稿で見てきた文末表現（3-1～3-5）に関し、それぞれの意味とピッチ情報に関する分析をまとめれば、表1の通りとなる。

表1 3-1～3-5の意味、ピッチ情報のまとめ

文末表現の意味	インドネシア語 ピッチ	日本語訳 ピッチ
3-1 kok/だよ, よ 知らせる・気づかせる	上昇	上昇
3-2 dong/(当然)～だよ, よ (当然)と強調する	上昇	下降
3-2 dong/(当然)～だよ, よ (当然)と要求する	平板的	下降
3-3 sih/だもん, だよ 理由を述べる/強調する・認める	下降	下降
3-3' sih/だもん, だよ (相手に甘えて言う場合)	下降	上昇
3-4 lho/だから, だよ, よ 知らせる・気づかせる	上昇	上昇
3-5 lah/文の意味の強調 強調しながらリズムを整える	平板的	(平板的)
3-5 lah/文の意味の強調 (強く)命じる	下降	下降

この表からわかるように、インドネシア語の文末表現と対応する日本語訳を並べてみた場合、それらのピッチ情報はよく似た傾向を示すものが少なくないことが分かった(3-1, 3-3, 3-4, 3-5)。一方で、日本語とインドネシア語で逆の傾向が見られたもの(3-2)もあり、また、話し手のジェンダーや年齢によって文末表現のイントネーションに影響を受ける日本語と、ほぼ受けないインドネシア語、という異なりがあることも分かった(3-3')。

我々は、異なる意味を伝えるために、文末表現において、言葉だけでなくイントネーションも知らず知らずのうちに変化させていた。すなわち、日本語・インドネシア語ともに、意味は音声に影響を与えており、多くのケースで両言語に並行性がある、と結論付けることができるだろう。

しかし、3-2 dong のように日本語とインドネシア語で逆の傾向が見られたものもあり、また、話し手のジェンダーや年齢によって文末表現のイントネーションに影響が見られる日本語と、ほとんど見られないインドネシア語、という異なりがあることも分かった。

これらは、言語の普遍性と個別性の一端を表していると言えるかもしれないが、今回はこのような傾向が見られたことを示すのみに留め、これ以上は言及しない。この件を明らかに示すためには、今後、他の様々な文末表現に関してはどうであるかを検証し、詳細な分析を行っていく必要がある。

本研究では、インドネシア語の文末表現(5種)について、日本語訳と比較しながらそれぞれの意味と用法をまとめ、それらの意味が音声(イントネーション)とどのようなかわりを持っているのか(いないのか)を考えてみたが、本来インドネシア語の文末表現にはさらに5～6種類があり、今後これらも加えた詳細な分析を行いながら、以降の研究に繋いでいきたいと考えている。

5. おわりに

通常インドネシアの方々にわからない単語の意味を聞くとすぐに教えてくれるが、文末表現の意味を尋ねると、ほとんどの方が口をそろえて「あまり意味はないから気にしないでいい」と言う。しかし、もしそれらが意味のない言葉だとしたら、なぜ様々な種類の文末表現をそれぞれの場面で使い分けているのだろうか。日本語の文末表現にも決まりがあるように、インドネシア語のそれらにも決まりがあり、ネイティブは知らぬ間にうまく使いこなしているのだろう。そうであれば、これは「意味のないもの」として放置しておくべきではない。そう思って始めたのがこの研究だった。

私たち日本人が使う終助詞に置き換えて考えてみれば、終助詞には話し手の感情が溢れ、その最後の数文字の

言葉を加えたことにより、聞き手に与える印象にも意味にも影響する。インドネシア語の文末表現の意味を詳しく理解することでインドネシアの方々の気持ちを深く読み取り、こちら側の気持ちも正しく伝わる会話ができれば、本当の意味でのコミュニケーションが可能となるのではないかと私たちは考える。

参考文献

- 青山剛昌・太田勝と江古田探偵団（1998）『名探偵コナン特別編⑤』小学館
- 川原繁人（2018）『ビジュアル音声学』三省堂
- 郡史郎（2020）『日本語のイントネーションしくみと音読・朗読への応用』大修館書店
- さくらももこ（2004）『ちびまる子ちゃん⑨』集英社
- 末永晃・関伊統・トルセノ A. S.（1999）『現代インドネシア語辞典』大学書林
- 田中真一・窪蘭晴夫（2012）『日本語の発音教室 理論と練習』くろしお出版
- 深町敬子（2002）『すぐにつかえるインドネシア語・日本語・英語辞典』国際語学社
- 舟田京子・高殿良博・左藤正範（2018）『プログレシブインドネシア語辞典』小学館
- 湯浅章子・チャリティー スダルゴ・ムギヤンティ スマルディ（2004）『インドネシア語 150 単語を使いこなそう』南雲堂フェニックス
- 湯浅章子・Rahmana Nur Arini・執行葉子・滝麻文（2021）「インドネシア語・日本語の文末表現～意味は音声に影響を与えるか」日本語音声コミュニケーション学会 2021 年度春季大会 発表資料
- 湯浅章子・Rahmana Nur Arini・執行葉子・白海燕（2021）「日本語 vs インドネシア語の文末表現～意味は音声に影響を与えるか」“Ungkapan Akhir kalimat Bahasa Jepang vs. Bahasa Indonesia—Apakah arti memberikan pengaruh pada intonasi?—”, インドネシア国際シンポジウム 発表資料
- Departemen Pendidikan dan Kebudayaan *Kamus Besar Bahasa Indonesia*. [Online]. Tersedia di kbbi.kemdikbud.go.id (diakses 18 Mei 2021)
- Kulsum Umi（2012）“Iya deh atau Iya Dong? : Membandingkan Partikel Fatis deh dan dong dalam Bahasa Indonesia”, *Ranah*, Volume 1, pp.40-55
- MB. Rahimsyah（2006）*Kamus Lengkap Bahasa Indonesia*. Penerbit APRINDO Jakarta
- M. Gunarsah（2001）*DETEKTIF CONAN EDISI SPESIAL 5*. PT Elex Media Komputido
- Miyake Yoshimi（2015）“Pragmatic particles and information structure in colloquial Indonesian dialogue”, *Proceedings of the Second International Workshop on Information Structure of Austronesian Languages*, pp.103-114
- Penerbit CITA CINTA（2007）*CITA CINTA* NO.11/VII 7月号
- Penerbit GO GIRL（2007）*GO GIRL*. 7月号
- Ulfa Rawina（2003）*CHIBIMARUKO CHAN 9*. PT Elex Media Komputido
- W. J. S Poerwardaminta（1982）*Kamus Umum Bahasa Indonesia*. PN Balai Pustaka

本稿で使用した音声分析ソフト：「Praat Version.6.1.42」